



IXIL ラシッサ クローゼット折れ戸アウトセットタイプ 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …施工を誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



●吊込み後、本体をゆすって外れないことを確認してください。正しく取付けないと、本体が外れて倒れます。

保管・施工前のお願い

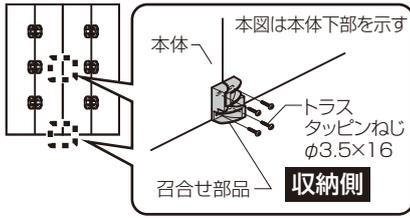
- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉に支障きたすので、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープは表面シートに貼ると、はがす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置きでの長期保管はソリ・ねじれとなるので、寝かせた状態にしてください。
- 本体損傷防止のため、建築工事中は、施工後に吊込むことをおすすめします。
- 壁面につける部品で荷重を受けるので、本体重量に耐える躯体を使用してください。

クローゼット折れ戸
アウトセットタイプの
施工手順動画



6274840346001

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

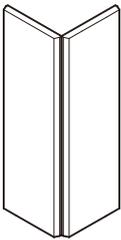
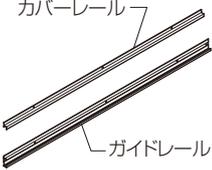
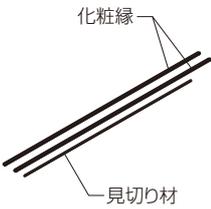
No.	チェック内容	
1	ガイドレール取付け時に粉塵やほこりを清掃し、ごみがない状態にしましたか？	<input type="checkbox"/>
2	吊込み後、本体をゆすって外れないことを確認しましたか？	<input type="checkbox"/>
3	召合せ部品(段差対策部品)は、取り付けましたか？(2Pの場合) 	<input type="checkbox"/>



このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

■部品・部材の明細

■部材の明細

折れ戸本体	枠(レールセット)	化粧縁片面セット
 <p>(一枚梱包)</p>	 <p>カバーレール ガイドレール</p>	 <p>化粧縁 見切り材</p>

■部品セット(別売り)

部品名称		1P用(L)	1P用(R)	2P用
上部固定部品		1	1	2
上部可動部品		1	1	2
吊元用端部キャップ		1	1	2
戸先用端部キャップ(L)		1	—	—
戸先用端部キャップ(R)		—	1	—
下部固定金具(L)		1	—	1
下部固定金具(R)		—	1	1
下部固定金具受け		1	1	2
下部固定金具カバー		1	1	2
下部固定金具スペーサー		1	1	2
召合せ部品 ※2個で1セット分		—	—	4
調整スパナ		1	1	1
クリアバンポン		2	2	—
上部部品固定ねじ (平タッピンねじφ3.5×20)		8	8	16
召合せ部品取付ねじ (トラスタッピンねじφ3.5×16)		—	—	8
固定ねじ (低頭2条ねじφ4×50)		12	12	17

開口部の作り方

開口施工上のお願い

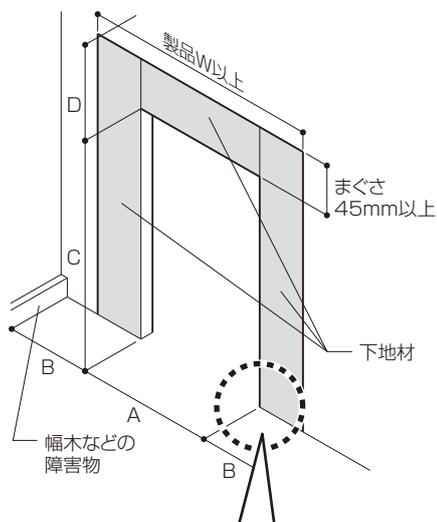
- 取付けできなくなるので、以下の施工条件を守ってください。
 - ・部品部材を固定する躯体は硬木としてください。
 - ・まぐさは45mm以上のものを使用してください。
 - ・軽量鉄骨は木枠をまわし、ランナー・スタッドには固定しないでください。
- 製品不具合となるので、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。
- 入隅の場合本体と壁・巾木が干渉し開閉不良になるので、必ず50mm以上の距離を確保してください。

①納まりに応じて開口部を以下の通り作成してください。
 リフォームの場合は指定寸法以上の下地材が入っていることを確認してください。

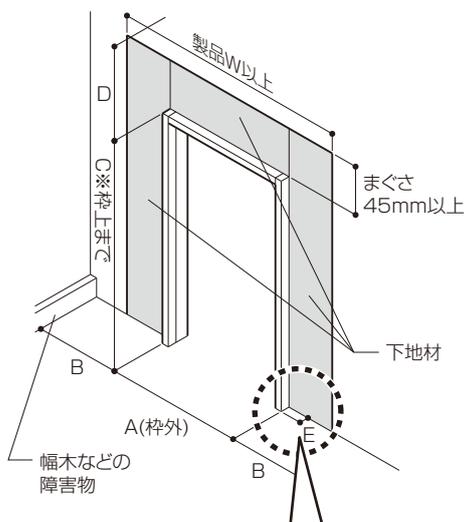
※開口寸法は、壁を仕上げた状態の寸法としてください。

2P納まりは開口両側、1P納まりは吊元側に、それぞれ下地材を設置してください。

<化粧縁なし、または片面化粧縁の場合>



<既存枠ありの場合>



	A	B
W09	780	50以上
W13	1234	
W17	1690	
W特注時 既存枠あり	W-86 枠外W	

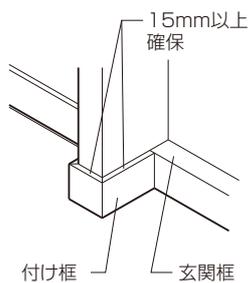
	C	D
H20	2015	100以上
H23	2298	
H特注時 既存枠あり	H-62 枠外H	

	E
既存枠あり	13以下

※E寸法が13mmより大きい場合、取付けることが出来ません。既存枠を外してから取付けてください。

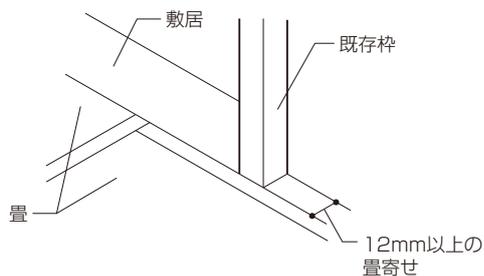
●玄関設置の場合

付け框の上に化粧縁と下部固定金具を載せる納まりになります。
 化粧縁と下部固定金具を載せる付け框部分は、壁より15mm以上出して納めてください。



●和室設置の場合

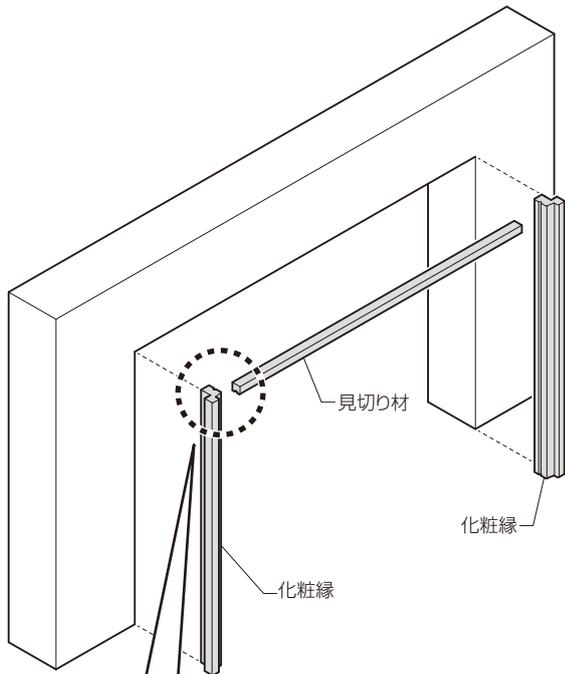
畳寄せの上に下部固定金具を載せる納まりとしてください。
 畳寄せは12mm以上のものを使用してください。



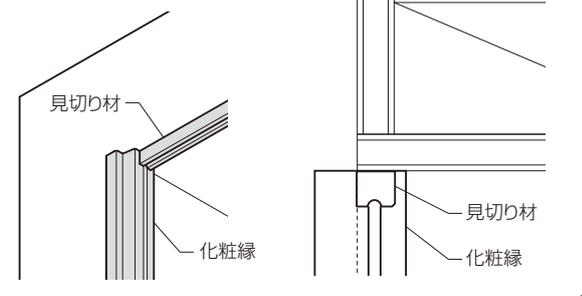
2化粧縁の取付け

※化粧縁なし仕様、既存枠ありの場合は「3ガイドレールの取付け」まで進んでください。

- ①化粧縁・見切り材を現場寸法に合わせて切断します。
 - ②化粧縁・見切り材の裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、かくし釘(現場手配)で固定します。
- ※かくし釘のピッチは200~300mmです。
 ※化粧縁・見切り材の取付け面は、接着剤がつくように仕上げてください。



縦勝ち納まり



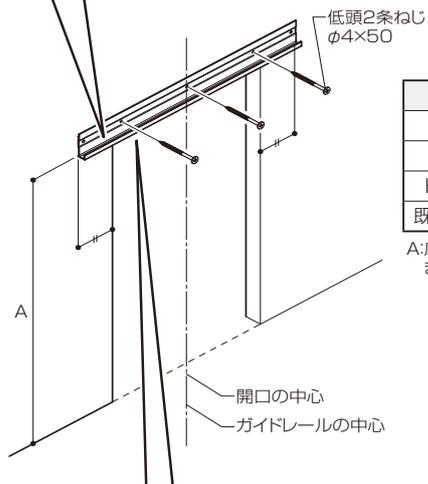
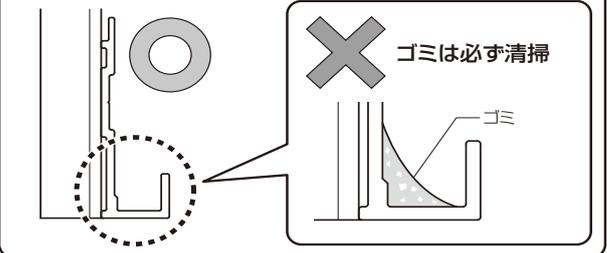
3ガイドレールの取付け

ガイドレール取付け上のお願

- 作動不良および異音になるので、以下事象をお守りください。
 - ・ガイドレール内のゴミは必ず取り除いてください。
 - ・必ずまっすぐ下穴を開けて水平に取付けてください
 - ・固定ねじは締めすぎないでください。

- ①レールを指定の取付位置に配置し、墨出ししてください。
- ②下穴(φ3)をあけ、指定のねじで水平に取付けてください。
- ③レール内のゴミを柔らかい布で残さずふき取ってください。

●レール内の清掃について

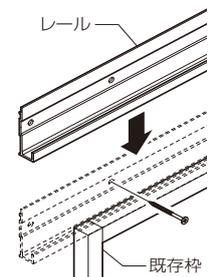


	A
H20	2015
H23	2298
H特注時	H-62
既存枠あり	枠外H

A:床~ガイドレール下端までの距離

●既存枠ありの場合

既存枠の上にレールを載せます。
 ※既存枠の水平がとれていることを確認してください。

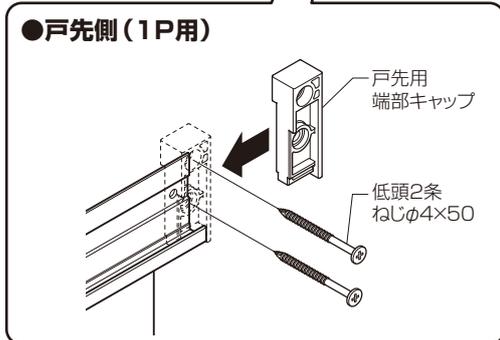
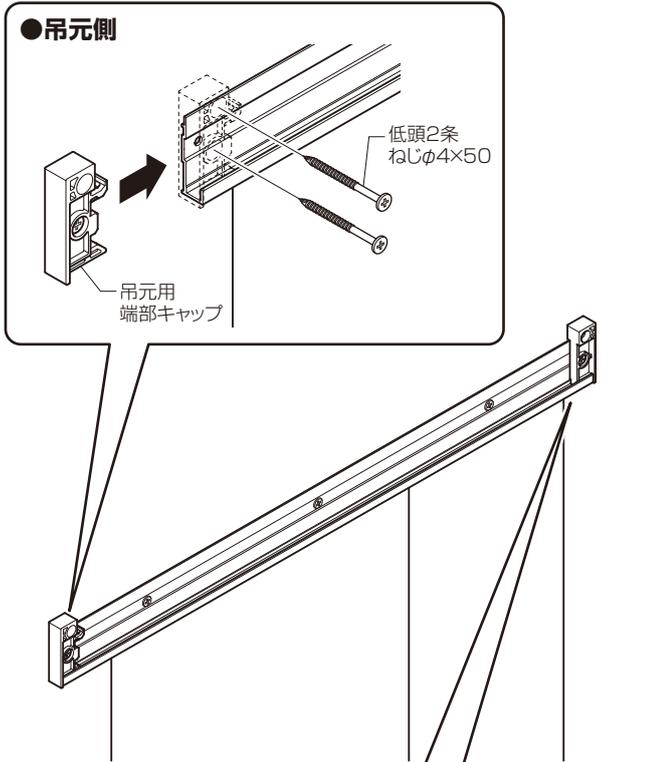


4 端部キャップの取付け

端部キャップ取付け上のお願ひ

- 開閉ができなくなるので、吊元側に必ず吊元用端部キャップを取付けてください。
- 異音や開閉不良になるので、ガイドレール内のゴミは必ず取り除いてください。

- ①ガイドレールの両端に端部キャップを配置し、指定のねじで取付けてください。
- ②ガイドレール内のゴミを柔らかい布で残さずふき取ってください。

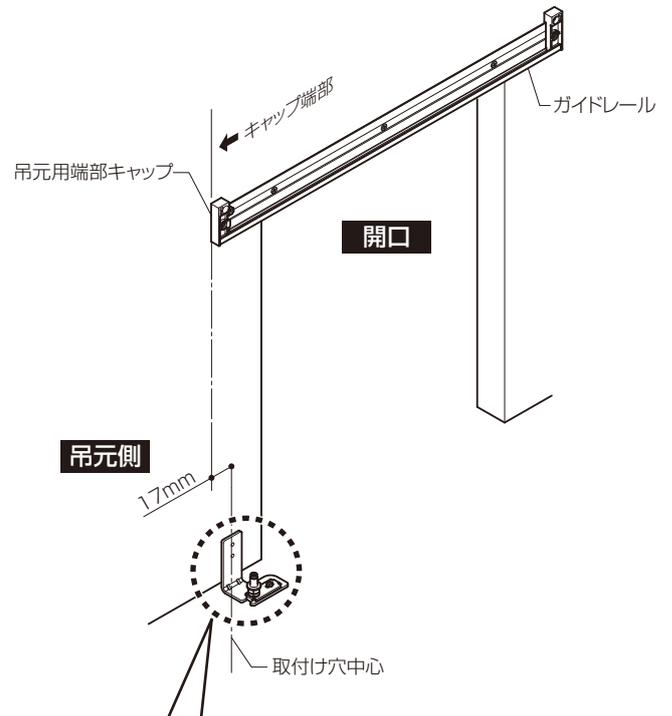


5 下部固定金具の取付け

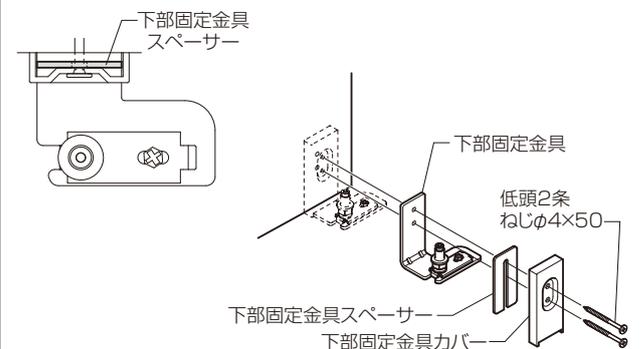
下部固定金具取付け上のお願ひ

- 作動不良や異音になるので、下部固定金具は下穴をあけて垂直に取付けてください。
- 開閉不良になるので、下部固定金具は床面にすき間なく付けてください。

- ①幅木がついている場合は、事前に部品取付け部の幅木を取り除いてください。
- ②部品と床面にすき間ない位置で墨出しを行い、下穴をあけてください。
- ③指定のねじでスペーサー、カバーも一緒に固定してください。



- スペーサーの位置
- ・カバーと下部固定金具の間にスペーサーを入れてください。



6 本体への部品取付け

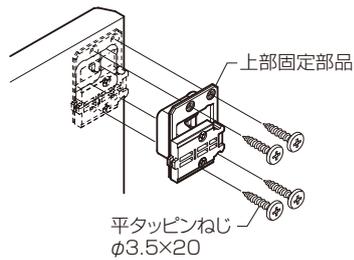
本体部品取付け上のお願い

- 吊込み・作動不良になるので、吊元側に必ず上部固定部品を取付けてください。
- 下部固定金具受けが破損するので、圧入時に必ず当て木をしてください。

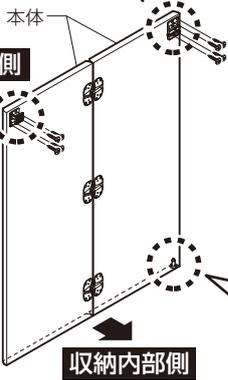
- ①上部固定部品、上部可動部品を本体の下穴に合わせて指定のねじで取付けてください。
- ②下部固定金具受けを本体下部の吊元側の加工穴に圧入します。

●吊元側

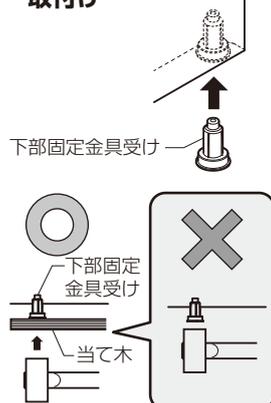
突起のついた上部固定部品を取付けます。



吊元側

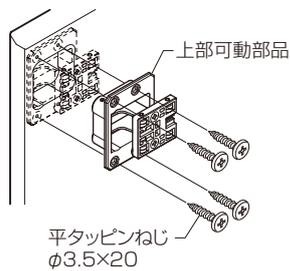


●下部固定金具受けの取付け



●戸先側

ローラーのついた上部可動部品を取付けます。



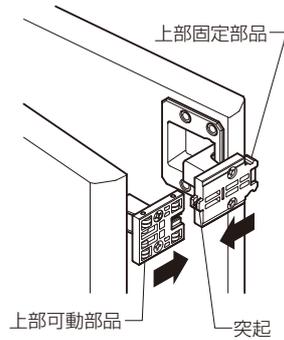
7 本体の吊り込み

▲ 注意

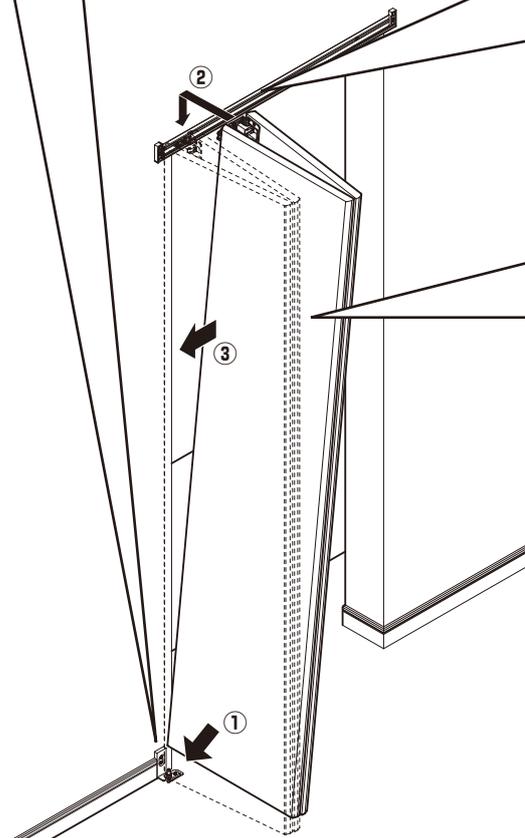
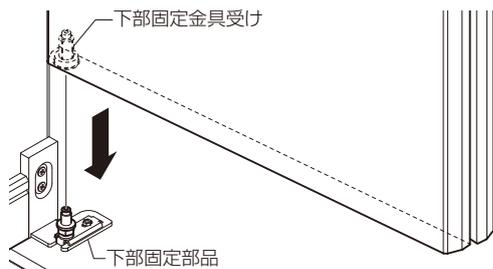


●吊込み後、本体をゆすって外れないことを確認してください。
正しく取付けないと本体が外れて倒れます。

●本体の吊り込み前に上部固定部品と上部可動部品の突起を組み合わせてください。

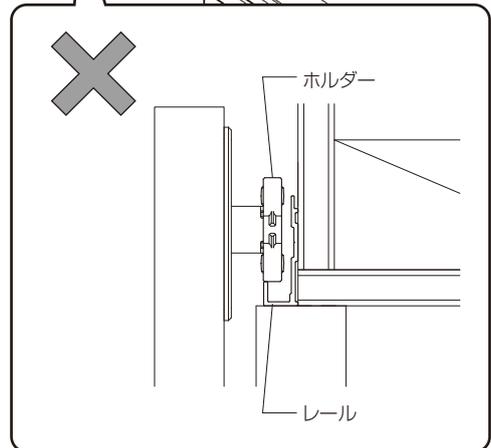
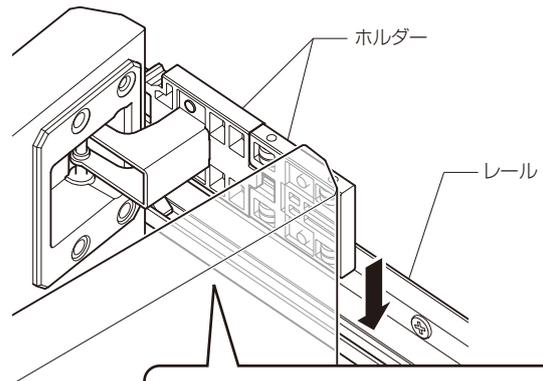


① 本体の吊り込み

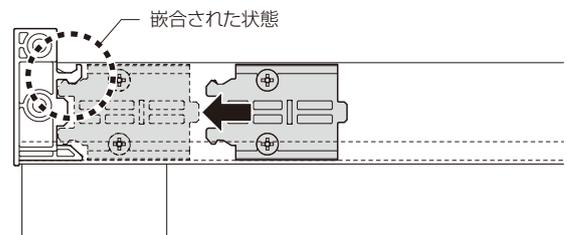
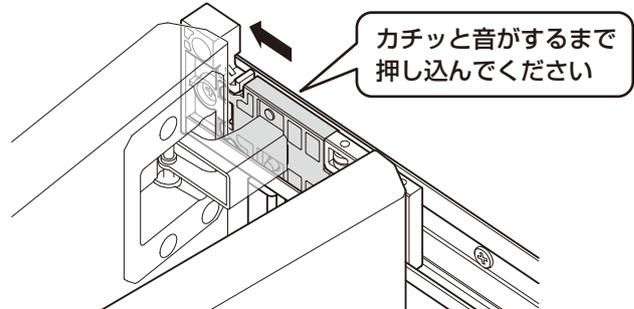


- ①下部固定金具受けを下部固定金具に差し込みます。
- ②上部固定部品と上部可動部品のホルダー部分をレールに載せます。
- ③上部固定部品を吊元側に押し込み、吊元用端部キャップと嵌合させます。

② 本体の吊り込み



③ 吊元用端部キャップとの嵌合

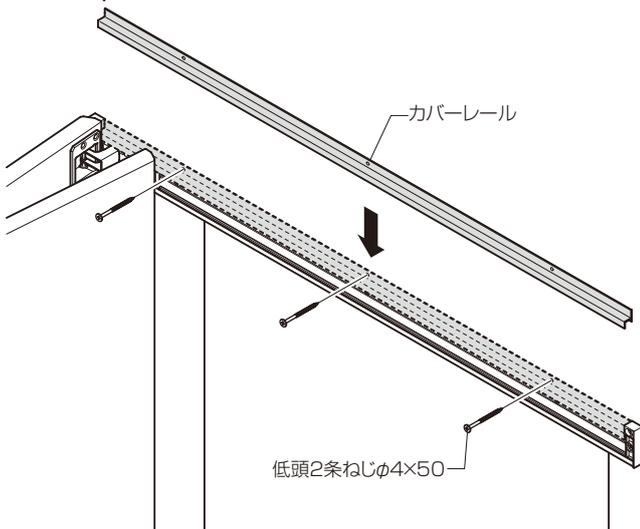
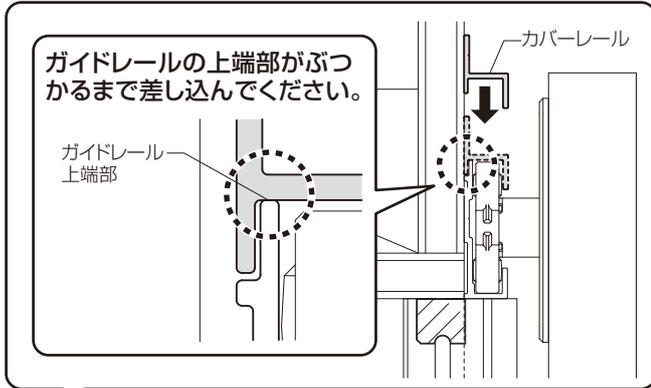


8 カバーレールの取付け

カバーレール取付上のお願ひ

- 異音や開閉不良になるので、部材内のゴミは必ず取り除いてください。

- ①カバーレールをガイドレールに差し込みます。
- ②カバーレールを指定のねじで取付けてください。



9 把手の取付け [把手デザインの場合]

把手取付け時のお願ひ

- 本体の表面が破損するので、把手穴加工は当て木をしてください。
- 開閉に支障が出るので、把手は可動側本体に取付けてください。

- ①把手を取付ける位置を決めてください。
- ②把手を取付ける側の下穴を貫通(φ4.5)してください。

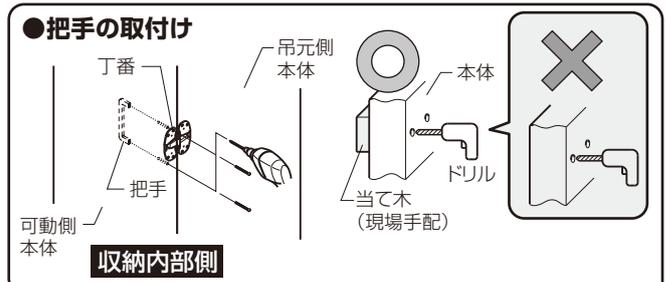
■把手セット(別売り)

		把手	取付けねじ
把手セット (取付けねじ付)		1	2
つまみ把手セット (取付けねじ付)		1	1

<手掛けデザインの場合>

把手の取付けはありません。

<把手の位置について>

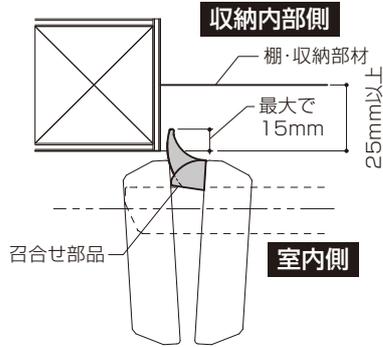


	可動側本体	フラット本体
縦把手		
横把手		
つまみ把手		

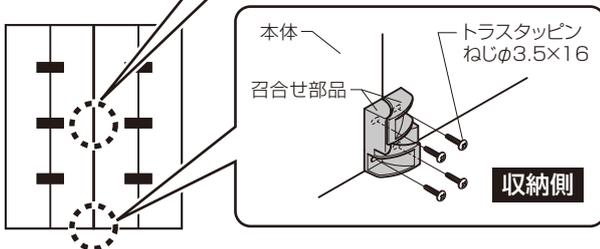
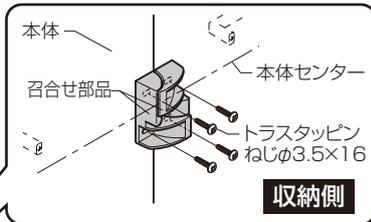
④ 合わせ部品の取付け【2Pの場合】

合わせ部品取付け上のお願

- 扉同士の段差を防ぎ、すき間やガタツキを防ぎますので必ず取付けてください。
- 合わせ部品は壁面からはみ出るので、棚などは25mm以上のすき間を確保してください。

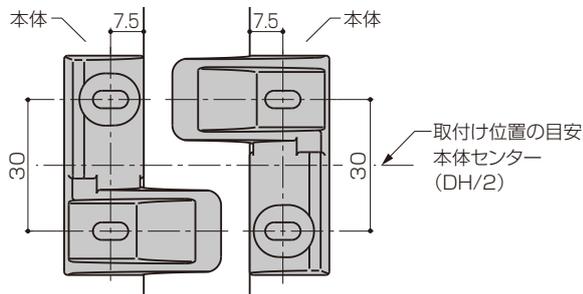


- ①下図の取付け寸法を目安とし、下穴(φ2.5×16)をあけ、同梱のねじで取付けてください。

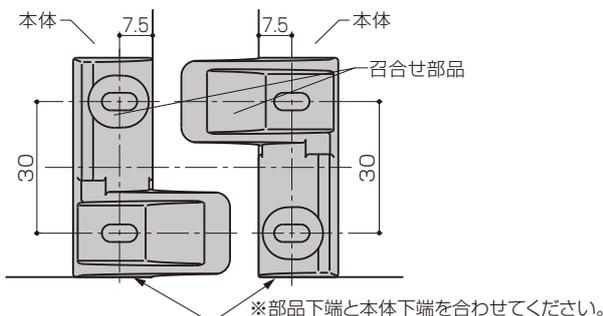


※図は扉裏面を示します。

● 本体中央部



● 本体下部

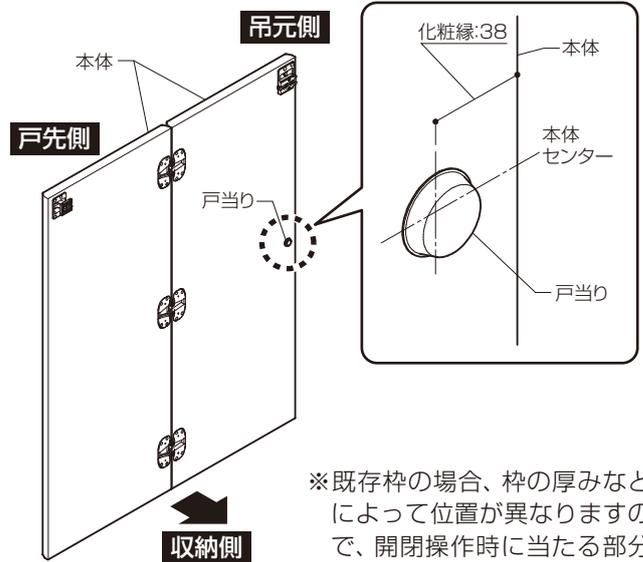


⑤ 戸当たりの取付け【1Pの場合】

戸当たり取付け上のお願

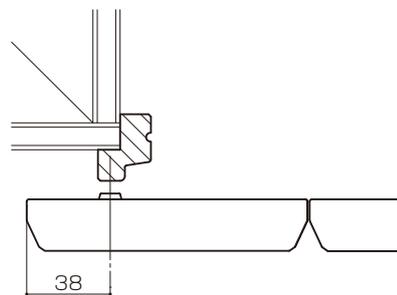
- 本体にキズがつくので、戸当たりが化粧縁・既存枠に当たるように貼付けてください。

- ①下図の位置を目安に戸当たりを本体戸先側のDH中央位置に貼付けてください。



※既存枠の場合、枠の厚みなどによって位置が異なりますので、開閉操作時に当たる部分に戸当たりを貼り付けてください。

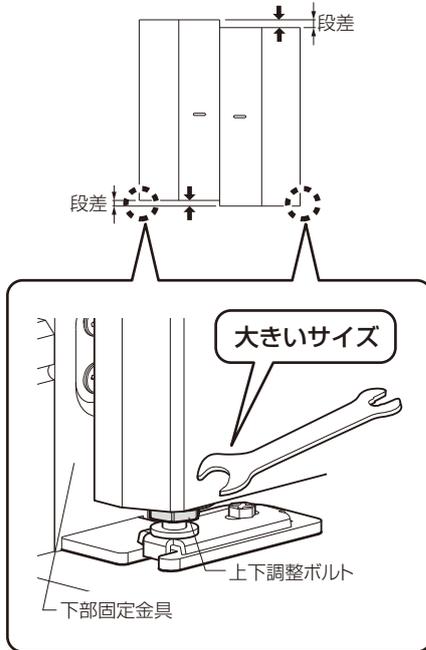
貼り付け位置目安



④ 本体の調整

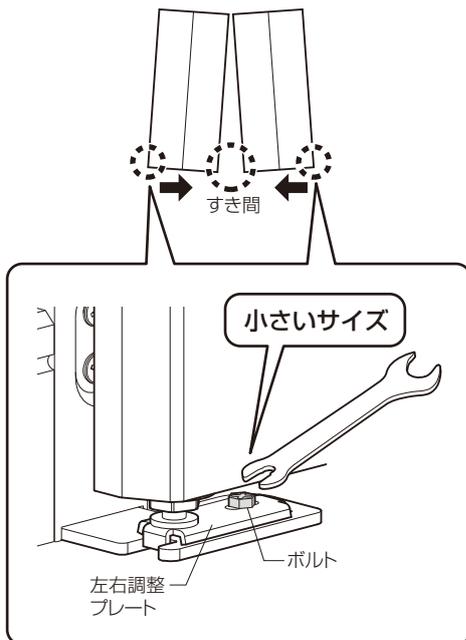
【段違い(上・下)の調整】

- 本体の取付け後、上下の目地が合っていない場合、同梱の調整スパナで下部固定金具の上下調整ボルトを回して調整します。(上下調整量：±3mm)



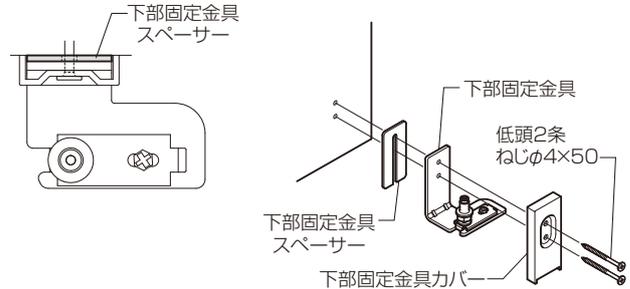
【本体同士のすき間の調整】

- 同梱の調整スパナで下部固定金具の左右調整プレートのボルトをゆるめ、左右方向の調整をした後、ボルトを締め付けます。(左右調整量：±3mm)



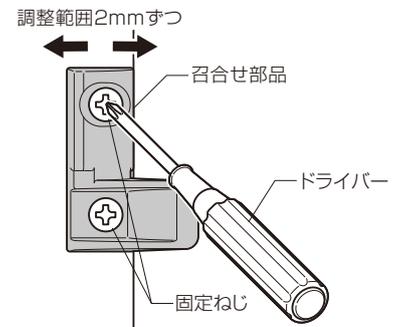
【干渉の調整(1P時)】

- 扉開閉時に扉の戸先が化粧縁や既存枠に当たってしまう場合は、一度本体を取り外して下部固定金具と壁の間にスペーサーを入れてください。



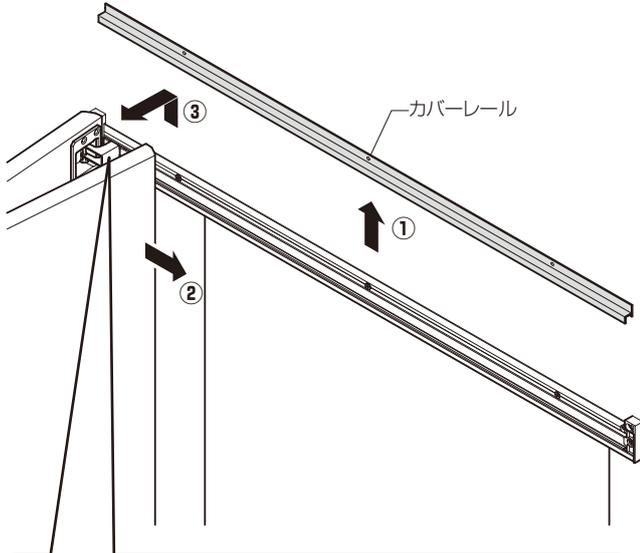
【召合せ部品の調整(2P時)】

- 固定ねじをドライバーでゆるめて調整してください。



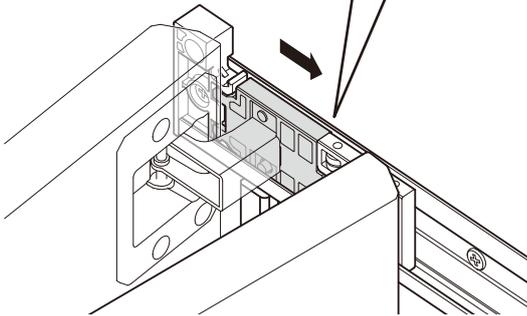
13 本体の外し方

- ① 本体を折りたたんだ状態にし、カバーレールを取り外します。
- ② 吊元用端部キャップと固定部品の嵌合を外します。
- ③ 本体を持ち上げてレールから取り外します。



② 嵌合を外す

本体を水平に動かして嵌合を外す



14 困った場合の対処(商品2次元バーコード情報)

製品ラベルの2次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。
※製品ごとに合わせた情報を公開しています。



● スマホ画面

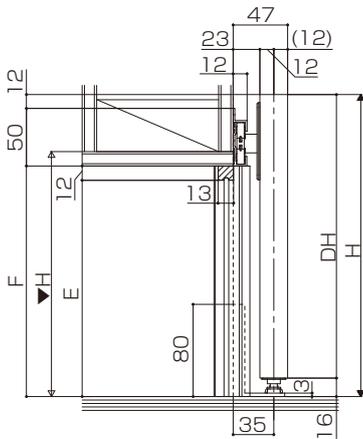
○ お客さまサポート

- ▲ 安全にお使いいただくために (+)
- ? よくあるお問い合わせ (+)
- ✓ お手入れ・お掃除 (+)
- 📄 取扱説明 (+)
- 🔧 調整方法 (+)
- ! 故障かなと思ったら (+)
- ✂ 施工説明 (+)
- 🛒 部品購入 (>)
- ☎ お問い合わせ (+)
- 📞 修理のご依頼 (>)
- 👤 リクシルオーナーズクラブへのご登録 (>)

■納まり図

■片面化粧縁納まり

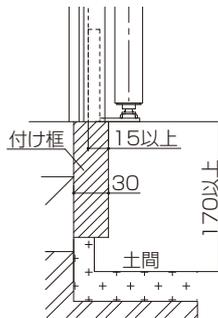
●縦断面図



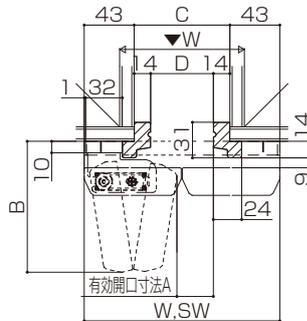
W呼称	W	A寸法	B寸法	C寸法	D寸法
08	866	686	449	780	752
13	1320	1073	345	1234	1206
17	1776	1530	460	1690	1662

H呼称	H	E寸法	F寸法
20	2077	2003	2015
23	2360	2286	2298

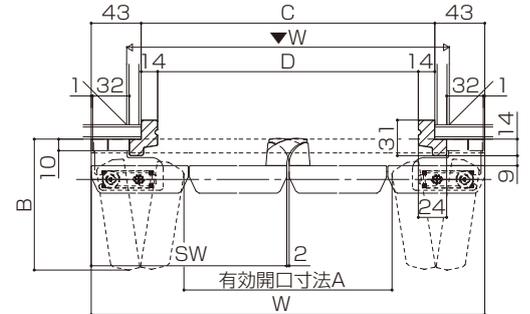
●玄関設置下部納まり



●1P 横断面図

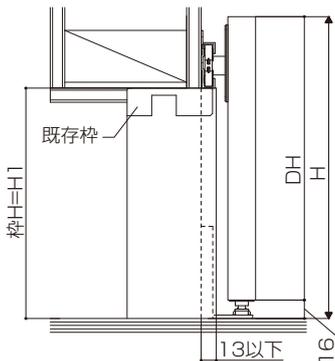


●2P 横断面図



■既存枠納まり

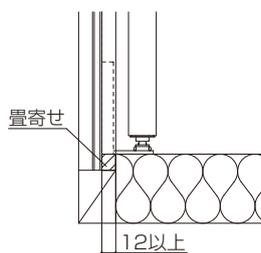
●縦断面図



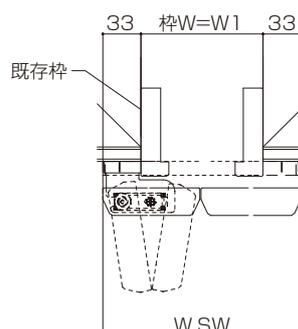
	納まり	枠W	W	SW
W特注	2枚建て	W1	W1+66	—
	4枚建て			(W1+64)/2

	枠H	H	DH
H特注	H1	H1+62	H1+46

●和室設置下部納まり



●1P 横断面図



●2P 横断面図

